

# そらこめ通信

No.84 2017年7月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

今年の6月は例年比べて雨が多く、気温もいまいちでした。北海道のホームページに農作物の生育状況が掲載されているページがあります。6月15日現在の情報として、水稻は茎数が少ないものの全体としてはほぼ平年並みとか。6月前半は雨が多く気温が低めに推移し、日照時間も少なかったのだそうです。7月初旬の今は幼穂形成期にあたります。これから20日間ほどは冷害危険期といって、水稻栽培における最も大事な期間。この時期に低温の日が続くと幼穂の中に花粉が作られず、出穂時に受粉がうまくできなくなるため、不稔稲が発生する可能性があります。1年のうちで農家の人たちが天候に最も気を遣う時期かと思えます。

今年で58才を迎える木村社長ですが、6月17日(土)に滝川市で開催された100キロウォークに参加しました。空知単板工業(株)(本社、赤平市)が主催するチャリティウォークで、今年で16回目ということですが、参加者が千人を超えるという人気のイベントです。「滝川ふれいの里」をスタートし、砂川、歌志内、芦別、赤平を經由して、まる一日かけてスタート地点まで戻ってくるという超ハードなイベント。社長はというと、午前9時にスタートして、徹夜で歩き通し、翌日の朝8時半過ぎにゴールしたとのこと。順位は公表されていませんが、100番くらいかなと言っておりました。いやはや、超人ですな…(@\_@) 恐れ入谷の鬼子母神だ…例えが古いね！

6月28日(水)、留萌市立緑丘小学校に職員3名で出向き、お米に関する授業を行ってきました。相手は5年生の児童29人。みんな事前にお米について良く調べていて、授業中も熱心に聞いてくれました。子供たちが、お米に関心を持っていくことがとても嬉しく、また、頼もしくもありました。未来は捨てたもんじゃないね(笑)



留萌市立緑丘小学校5年生の児童たちに「お米について」出前授業を行いました(6月28日)



緑丘小学校5年生の教室前の廊下に掲示されたコメに関する学習成果発表のようす～いくつかのグループに分かれて調べたようすが、とても上手にまとめられていました。



6月30日に行われた水神宮祭のようす。防災のほか水利施設としても利用されている「大枝沢ダム」の近くで毎年行われている地域の恒例行事。農家にとって、水は最も重要な資源です。



ラジコンポートを使って圃場に除草剤をまく作業(5月30日)



木村社長が100kウォークに参加(6月17日)



チャリティ100kウォーク開会式～滝川市



滝川ふれいの里を午前9時に出発、スタートから約12キロの砂川市で撮影(6月17日)



「ピンククオーツ」という種類のダリアです 「彩雪」という種類のダリアです ダリアのハウスのようす(7月2日午前4時)  
 緑丘小学校を訪れて感じたことがもうひとつあります。それは、学校を訪ねた大人たちに対して、児童たち一人ひとりがきちんと挨拶できていたこと。学習することも大事ですが、挨拶もそれらに負けにくい大事なことです。この世の中、日常の挨拶さえできれば何とか生きていけるもの。日本人の主食であるコメについて学習することと併せて、日頃から挨拶することの重要性を児童にきちんと伝えていってほしい先生方に敬服した一日でした。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 facebookによるブログ「生産日誌」更新中